

# 迎春

令和三年

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆様には日ごろから、新型コロナウイルス感染症防止等にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。昨年は、世界中で新型コロナウイルス感染症が拡大し、本市としましては、「特別定額給付金事業」や「がんばろう都城！事業者支援金」、「がんばろう都城！ふるさと応援券」をはじめ、迅速に、多くの緊急対策事業に取り組んでまいりました。本年もまずは、新型コロナウイルス感染症対策と、高病原性鳥インフルエンザまん延防止対策に万全を期してまいります。

私は、昨年の市長選挙において市民の皆様のご負託をいただき、引き続き3期目の市政運営の重責を担うこととなりました。「自治体経営」の考え方の下、これまで以上に、「市民の皆様のご幸福と都城市の発展」のため、あらゆることに「本気で挑戦」し、結果・成果を出してまいります。さて、私はこれまで「本市が持つ3つの宝」を輝かせるためのさまざまな事業に取り組んでまいりました。その3つの宝の一つ「地の利」をさらに高める施策として、「都城志布志道路」の整備を推進してまいりました。官民挙げて国や県への要望活

動などを積極的に行った結果、令和3年度末には横浜市ICから乙房IC（仮称）間が開通する予定であり、開通率はいよいよ8割になります。また、本市の対外的PRツールとして強力に取り組んでいる「ふるさと納税」については、平成26年10月のリニューアル以降、480億円、289万件（令和2年12月9日現在）ものご寄附をいただき、市内全小・中学校のエアコン設置など、多くの事業に活用しております。さらに、中心市街地中核施設「Mallmall」については、多くの皆様に来館いただき、とりわけ、市立図書館の来館者は開館以来261万人（令和2年12月9日現在）に到達しております。コロナ禍ではありますが、これまでに以上にスピード感を持って前向きにチャレンジし、「南九州の拠点都市」リーディングシティの確立と「笑顔あふれるまち」スマイルシティ「都城の実現」に向け、引き続き「本気で挑戦」してまいりますので、皆様のより一層のお力添えをお願い申し上げます。最後になりますが、本年が皆様にとって幸多き一年でありますことをお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



都城市長

たか ひさ  
池田 宜永



都城市議会議長

え ない だに

# 江内谷 満義

新年明けましておめでとうございます。皆様には、新型コロナウイルス感染症防止等にご配慮をいただきながら、新年をお迎えのことと感謝申し上げます。

また、日ごろから、議会活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。都城市議会は、29人でスタートを切つてから、3年が経過しようとしております。この間、市議会では、より一層の市政の発展と市民福祉の向上を目指し、市民が笑顔になるよ

う重要課題の解決に向けて、活発な議論を重ねてまいりました。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大により、世界や国内の社会・経済状況は、大変厳しい状況にあります。が、本市におきましては、令和9年開催予定の国民スポーツ大会のメイン会場となる山之口運動公園の整備が昨年7月に始まりました。このほか、道の駅「都城」・関之尾公園のリニューアルに加え、都城志布志道路も本年2月には鹿児島県側の有明東ICから志布志IC間（仮称）が、

さらに3月には、末吉ICから金岳IC間が開通予定となっており、供用率は73%になるなど着々と整備が進んでおります。

また、不断の取り組みが評価され、「住みたい田舎ベストランキング」で九州1位を獲得し、楽天ショッピング・オブ・ザ・イヤー2019において「ふるさと納税大賞」を受賞するなど、本市の知名度は確実に高まっております。

私も市議会としましても、市民の皆様へ寄り添いながら、より身近で開かれた議会の実現を目指し、議会の役割を果たすべく改革に取り組んでおります。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、議会報告会を開催中止といたしました。が、「議会だより」を年間4回発行することで、定例会や閉会中の活動を広報するとともに、直接、市民の皆様へ活動をご報告しております。今後も、市民の代表として全議員一丸となつてまい進してまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様にとつて、本年が幸多く、実りある一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。